

令和4年度 学校関係者評価報告書

学校法人 豊国学園 門司瞳幼稚園

1、本園の教育目標

- ・明るく元気なこども
- ・よく考え工夫するこども
- ・友だちとなかよく、きまりをまもる

2、本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・本園の教育目標のもと、自己点検・自己評価を実施することによって、ひとりひとりの幼児を大切にしたい保育の実践に努める。
- ・教師としての資質や保育の質の向上を図る。
- ・感染症対策を踏まえた生活習慣と保育を両立させる。

3、評価項目

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育課程を見直し改善を図る	C	教育課程のねらいや内容を再度見直し、教職員が幼児の姿や遊びの記録をもとに問題点をクラス毎に見出し、可能な限り改善していく。
2	教師としての資質や保育の質の向上を図る	B	子どもたちの日常を可能な限り個別に観察し、興味関心に基づいた計画をクラス毎に策定した。また、年長組は年度末までに小学校進学後も安心できるように『全員があいさつを使い分けることができる』という目標を定め、おおむね達成できた
3	感染症対策と保育の両立	B	感染症対策について職員間の共通認識を報告・連絡・相談を徹底して図り、保護者にも感染予防のための現状と報告を文書やメール等で周知した。 行事を3部制など例年とは異なるやり方でいながら、園児や保護者ならびに職員の健康と安全も考慮しながら活動を進めることができた。

A—十分に成果があった B—成果があった C—少し成果があった D—成果なかった

4 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価	理由
B	感染症対策を前提に、行事の実施方法について実情に合わせた改善（人数制限のために分割実施など）対応できたことで、園児・保護者・職員の健康と安全を踏まえて教育を実践することができた。その一方で職員が病欠の際の人員不足の課題も見えた。

5 今後取り組む課題

	課題
1	指導計画 クラス毎に年間目標を定め、時間割・指導計画を作成し保護者に周知する。
2	安全管理 衛生面等感染症対策など、職員間で子ども達の健康と安全を守るための情報共有を密にし、有事の際の対応方法の共有化と全職員が協力してサポートすることを図る。
3	保護者との連携 保護者の方にクラスの目標を理解いただき、子ども達の成長の情報共有を普段のコミュニケーション（担任を始め全職員が保護者の方々と）等から図る。

6 学校関係者の評価

子ども達が伸び伸びと楽しく学んでいる姿が見られ、あいさつをしっかりとできる教育がされているようだ。
春まつり・運動会・生活発表会の主要行事も多く保護者の参加に対応（ここ数年コロナ禍でできていなかったことを踏まえて）できていたことがよかった。

学校関係者評価委員

学校関係者評価委員